

4. 奈良県十津川村歴史資料調査・天理大学附属天理図書館所蔵の関連文書調査

水谷 友紀

1. 概要

奈良県十津川村では2017年度より村史編さん事業が実施されている。2023年3月には『十津川村史歴史資料編（近世2）』が刊行された。この編さん事業には、本学から東昇（教員）と文化情報学研究室をはじめ多数の院生・学生が歴史部会の調査に参加している。

このたびは、村内に伝存する古文書等歴史資料の調査が順調に進んでいることを受けて、奈良県内の諸機関に所蔵されている十津川村関連文書調査を実施した。これまでに、天理大学附属天理図書館所蔵の近世文書のうち、吉野郡全域文書（保井文庫文書）・吉野郡十津川郷全域文書（同）、吉野郡十津川郷風屋村文書の閲覧・調査を行った。

2. 内容

・第1回 2023年8月30日、9月1日

十津川村教育委員会大向翔太学芸員のご協力を得、十津川郷由緒・天誅組・郡中材木方等に関する文書を閲覧・調査した。

・第2回 2023年10月23日、10月25日、10月27日

吉野郡全域文書の閲覧・調査を実施した。調査カードに記入するほか、基本的に資料の収集は筆写によるが、大部なものについては今後複写申請を行う予定である。

・第3回 2023年11月27日、11月29日、12月1日

十津川郷全域文書および吉野郡十津川郷風屋村文書の閲覧・調査を実施した。前者には数点であるが、村絵図が含まれている。

引き続き、調査を進めていく計画である。

編集後記

フィールド集報の組版作業は、歴史学科文化遺産学コースの考古・建築・地理・文化情報の合同実習メニューとして学生が Adobe 社の InDesign を利用しておこなっている。

今年度は、3年ぶりに多様な場所・フィールドで調査をおこなうことができた。調査時だけでなくその後の作業においても多くの方々からご協力を賜った。ここに改めてお礼申し上げる。

海外の調査も徐々にではあるが再開されるようになった。来年度はまた違うところに行きたいと思う今日この頃である。(き)

京都府立大学文学部歴史学科

フィールド調査集報 第10号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

発行日 2024年3月30日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2
